

## マンスリー

# サンズ・トーク(54)

2013.5.1

木村 讚

## 本所・向島回遊記

スカイツリーは3月に登りましたが、私は、むしろその足元に広がる下町の時代を感じさせる風情に愛着を覚えて、本所、向島と回遊してきました。

### ホームラン王 王さんのふるさと業平町

王さんは、墨田区業平町の中華料理店**五十番**の息子さん。業平小学校、本所中学、早実へと進み、巨人軍の主砲として活躍、終身ホームラン世界記録をたてて国民栄誉賞に輝きました。

その食堂五十番が、今もスカイツリーに近い町で営業しています。私は、平日お昼すぎ、そこで広東麵を食べました。ご当主が調理しているのが、カウンター越しに見える小ぶりなラーメン屋です。

ご当主は、戦争中、中国からカンボジャ、ラオスに転戦、タイで敗戦となり、帰ってきて昭和24年から王さんの父に習って中華料理を始めたそうで、彼の料理人生は遅かったのだ。当時は、あたり一帯が空襲で焼け野原、主人は王さんの父と苦労を共にし、王さんが小学校のころから一緒だったのです。その後、のれん分けしてもらって50年目だという。

王さんの父の店は、ここから近く、浅草通りにあったが、立ち退きになって、新宿でしばらくやっていたそうです。ソフトバンク代表になった王さんは、ほとんど福岡にいますが、上京するときには、この五十番を古巣と思って帰ってきてくれるそうで、店内にはそういう写真が飾ってあります。



熱々の麵を食べながらカウンター越しに問答するので、話は断片的になってしまうが、中華鍋を振っていい味をだしている92才のご当主の、飾らない人生譚には実に感動いたしました。そこで、記念に一枚写させて欲しいとお願いしたのが、これ。

### 墨田公園少年野球場

向島は、隅田川に沿った昔の花町。墨堤に言問団子の銘店があり、その横に野球のグラウンドがある。



説明板に書いてあります。昭和24年、戦後の荒廃した時代に「少年に明日の希望を」をスローガンとして、有志や子供たちが荒地整備による汗の結晶として誕生した日本で最初の少年野球場です。以来多くの少年球児がここから巣立っていったが、中でも日本が誇る世界のホームラン王、巨人軍王貞治氏もこの球場から育った一人です。

### 多彩な歴史を持つ墨東の魅力

最先端をゆくスカイツリーは、新しい文化が一杯ですが、私はそれよりもむしろ、東京の下町が持つちいさな物語のひとつひとつに触れることのできる街歩きに魅力を感じているのでした。